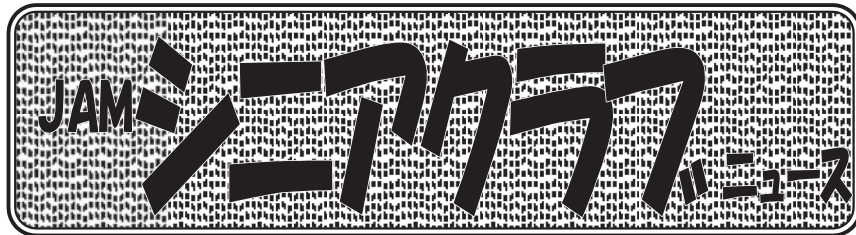


地域組織の確立で
会員間の絆の促進を



第119号

発行日 2017年7月25日

発行者 JAMシニアクラブ

mail jam-senior@jam-union.jp

発行所 東京都港区芝2-20-12 友愛会館11階 JAM本内部 〒105-0014 電話03-3451-2650 fax03-5440-7389

退職者連合
第21回定期総会

生き生きと安心して暮らせる社会へ 着実に行動する退職者連合の歩みを

日本退職者連合は、7月14日、お茶の水にある連合会館で第21回定期総会を開いた。この1年を社会的共感が得られる運動の分野で確かな手ごたえを実感、行動する退職者連合としての歩みを着実に前進させることができた」と総括。政治の流れを変え、生き生きと安心して暮らせる社会を目指すとする新年度運動方針を決定した。また阿部保吉会長が退任し、新たに人見一夫新会長を選出した。

総会は「衆議院総選挙を勝ち抜き、政治の流れを変えて、生き生きと暮らせる社会にしよう！」を大会スローガンに、9時

きと安心して暮らせる

社会にしよう！」を大会スローガンに、9時

30分に開会した。退職者連合の阿部保吉会長は、挨拶で九州

の集中豪雨にふれ「山崩れや川の氾濫は山の手入れが十分でないことが原因。森林保護は政治の結果だ」と政府の政策の不備を指摘、今なお過酷な状況に置かれている東日本大震災や原発、熊本地震被災者と共に支援していくことを明言した。その上で、安倍政権の国会での暴挙には「私たちの平和を脅かす共通課題に取り組んでいく」

姿勢を示した。来賓の連合神津里季生会長は、中小と非正規の賃上げが大手を上回った春闘結果に「連合が流れをつくり、持続させなければならぬ」と力説、また働き方改革をめぐる官邸で安倍首相と会談した報道内容にふれ、発言の真意と考えを慎重に語った。その後、民進党・蓮舫党首、社民党・又市幹事長、労福協、

労金協会、全労済から連帯の挨拶がされた。運動方針討議は、「年金学習会」は多くの参加者で埋まり関心の高さを示したが、学習だけでなく次は具体的な行動を、介護離職対策の介護休暇制度見直しなど「介護問題は現役・連合としっかりと連携した活動が必要だ」、沖縄普天間基地返還や平和運動の強化を要請するなど退職者連合に積極的な行動を求める発言が続ぎ、本部答弁の後、運動方針は承認された。また役員改選では阿部会長が退任、人見一夫新会長(自治退)を選出した。JAMシニアの大山会長は幹事に再選された。

内部文書の有る無しに付度疑惑も解明されない森友・加計学園問題、さらに監視社会が懸念される共謀罪法が、従来慣行を無視した奇策で委員会採択を省略し本会議で強行採決された。国民の疑念にこたえる姿勢も答弁も無いまま一強多弱の国会は閉会され、

結果は安倍政権の傲慢な国会運営に苛立っていた国民の一人として、腹の虫が少しは治まったかと思えたがそれ以上に深刻な問題が別にあった。自民党が自滅激減したのに何故民進党は都民の支持を得られず、27人の立

い政策として内外に示され、国民に判断されるべきものと考えるが、安全保障に原発、自衛隊と憲法9条の関係など広く理解されているのか。支持率低迷の現状をどう分析総括するか期待したい。

その翌日に安倍総理は「本来の政策論争以外の話を盛り上げてしまった。深く反省する」指摘があればその都度説明責任を果たす」と二枚舌発言をする。

候補者中僅か5人しか当選出来なかったのか。予定候補者がファースト公認や推薦の無所属で出馬する事態の対応や支持者対策は万全だったのか。国政での課題に対する民進党の是々非々は、党としての統一した理念を基にぶれない

都政の結果は国政に直結し地方に伝染するとも言われ、野党内でも埋没するこの厳しい結果を真摯に受け止め、反転攻勢へ

反転攻勢へ民進党は 党の理念に基づき政策提示を

滋賀シニアクラブ代表幹事 酒田 郁

率いる都民ファーストが49人当選の大躍進、自民党は予想以上に苦戦し公明党と同数の23人の大惨敗となった。この

の礎に失くしては存在価値も無くなる。自然災害や北朝鮮のミサイル挑発に対する対応対策は勿論のこと、憲法改正も挙党体制での議論を尽くし、そして世代間連帯の長生きして良かったと実感できる日本国を実現しよう。

この礎に失くしては存在価値も無くなる。自然災害や北朝鮮のミサイル挑発に対する対応対策は勿論のこと、憲法改正も挙党体制での議論を尽くし、そして世代間連帯の長生きして良かったと実感できる日本国を実現しよう。

主張



率いる都民ファーストが49人当選の大躍進、自民党は予想以上に苦戦し公明党と同数の23人の大惨敗となった。この

の礎に失くしては存在価値も無くなる。自然災害や北朝鮮のミサイル挑発に対する対応対策は勿論のこと、憲法改正も挙党体制での議論を尽くし、そして世代間連帯の長生きして良かったと実感できる日本国を実現しよう。

この礎に失くしては存在価値も無くなる。自然災害や北朝鮮のミサイル挑発に対する対応対策は勿論のこと、憲法改正も挙党体制での議論を尽くし、そして世代間連帯の長生きして良かったと実感できる日本国を実現しよう。

JAMシニアクラブ 2018年度定期総会開催

日程：2017年9月5日(火)
会場：友愛会館9階

- ① 2018年度活動方針の件
- ② 2018年度予算の件
- ③ 規約一部改定の件
- ④ 役員選出の件
- ⑤ 表彰の件

お知らせ

玉 迎賓館「赤坂離宮」を見学 格調の高さに圧倒される

林 久 詔通信員

JAM埼玉シニアクラブ(会長・田子恵二)は平成29年6月30日、東京港区元赤坂の迎賓館の見学会を行った。迎賓館の団体による見学は人気が高く、なかなか抽選に当たらないため日時を決めた。JAMトラベル&サポートの協力や役員が手分けして5月4日、一斉に申し込みを行い、運よく当選し実施することが出来た。



当日は雨模様だったが、雨に打たれないで済んだ。入館に際しては厳しい持ち物検査と

ボディチェックを受け、入館までの警備とチェックは想像以上でしたが入館後は意外と自由にゆつくりとみる事が出来た。迎賓館は明治42年(1909年)に日本における唯一の西洋風宮殿、東宮御所として

完成したものの。昭和天皇や今上天皇が一時期お住まいになった以外あまり使われないまま経過してきたが、昭和38年(1963年)、国の迎賓館を作る方針により昭和42年(1967年)、赤坂離宮を改修して迎賓館とする事が閣議決定され、昭和49年(1974年)、現在の迎賓館として完成した。以後、各国の

大統領、首相などの国賓、公賓が宿泊し、関係行事や会談が行われてきた。平成21年(2009年)建物と主庭噴水池が明治以降の建物としては初めて国宝に指定された。このような貴重な建築物や装飾品をみる事ができ幸運であった。館内の順路にしたがって、1階玄関ホールを抜け、中央階

段、2階ホールに上がり、歓迎行事、首脳会談、晩餐会などを行う羽衣の間、花鳥の間、彩鸞(さいらん)の間を見学。各室ごとに異なる建築様式や装飾、家具等の美しさと格調の高さに圧倒された。また各室に展示してある接遇の様子はテレビニュースで目にした通りであった。残念ながら朝日の間は改修中で

未公開。1時間ほど館内を見学し、主庭噴水池、正門から建物を見るコースで、13時に受

埼玉シニアクラブ結成15周年行事を計画
記念事業は身近な地域ごとに計画

け付け入館から14時30分まで約1時間半にわたって見学し、正門前で散会した。

JAM埼玉シニアクラブ(会長・田子恵二)では、2017年、結成15周年記念行事を計画し実施している。1999年9月、JAMの人から地道な会員増の活動が報告される。兵庫も現状250人から目標300人の拡大に向けた決意を表明。また、3県合同会議を今後も定期的に開催する事を確認した。

夕食はバイキングで舌鼓。そのアトの二次会?、15人全員参加で「力合わせ」の源になる懇親を充分に深める事が出来た。

翌日は有志で金比羅さんに、それぞれの体力に合わせた散策を楽しむ。そして金毘羅宮に向かつて「広島カープと阪神タイガース」の優勝を祈願。御利益は如何に?

結成を受け、2002年6月13日、これまでのOB会を解散、同時に埼玉シニアクラブを結成した。

結成当時の会員数は61人だったが、現在207人となっている。2016年10月、第16回総会で結成15年を迎え、2017年度に結成15周年記念事業を行うことを決定し、活動を進めている。

内容は県内を8地域に分け、地域毎にボウリング大会、カラオケ大会、見学会等の行事と懇親会を計画実施する。これはできるだけ多くの会員が参加できるように、身近な地区で開催としたもの。

10月28日は第17回総会で記念式典、祝賀パーティを計画。また簡単な記念誌を発行するための作業を進めている。

広島・岡山・兵庫の山陽3県

シニアクラブ合同会議を開く

兵庫シニア事務局次長大塚 陽

JAM山陽(広島・岡山・兵庫)が一つの地方組織であるため、そこに結集するシニアクラブも1度「顔合わせ・力合わせ」を試みたいと思っていた。

山陽の岩崎書記長の音頭と広島シニアの井上事務局長の世話で昨年2月に、中間点である岡山の全労済会館で初めての会合を持つことが出来た。

各県のシニア三役クラスと現役の三役・書記局全員、シニア中央

本部から大山会長にも参加頂き、さらに大先輩のNTN北裏氏を含め総勢31人。会議終了後の「懇親会」では、特に現役のNTNの森委員長のお世話で有意義な初顔合わせが出来た次第である。

そして本年はより「力合わせ」が深まるように、6月16日(金)から17日(土)にかけて1泊で香川県「レオマの森」で、シニア中央本部から大野事務局

長にもご出席頂き2回目の3県合同シニア会議を開催した。この開催に当たっても広島シニアの井上事務局長が献身的に取り纏めをして下さったこと



2017年6月16日 三県合同会議 (於) 香川県「レオマの森」

に感謝。会議の冒頭、大野事務局長から「他府県にまたがるこのような会議・交流はあまり他に見受けられない。是非『力合わせ』を今後も続けて頂きたい!」と激励の言葉でした。今回は現役役員が他の会議と重なり不参加となったが、シニアの実質的な事務を担当してくれている各県3人の女性書記局長が同席した。何かと「専さん」の世話を頂いたことに謝・謝。総勢15人が参加した。

組織拡大の件では岡山が10人から5割アップの15人に、広島も38

は如何に?